

周産母子センター

Maternity and perinatal care unit

センター長	宮脇 利男	Toshio Miyawaki
助 教 授	酒井 正利	Masatoshi Sakai
講 師	廣川慎一郎	Shinichiro Hirokawa
講 師	二谷 武	Takeshi Futatani
助 手	佐々木 泰	Yasusi Sasaki
助 手	内 尚子(前)	Naoko Uchi
助 手	小川 次郎	Jiro Ogawa
助 手	吉田 丈俊	Taketoshi Yoshida

◆ 著 書

- 1) 酒井正利, 斎藤 滋: 異常妊娠: 胎児付属物性異常妊娠. 「エッセンシャル産科学・婦人科学(第3版)」, III B. 産科学各論(異常編), 416-419, 医歯薬出版, 東京, 2004.
- 2) 宮脇利男, 二谷 武: 免疫不全症候群の疾患分類. 内科診療Q & A 第39号, 186-187, 六法出版社, 東京, 2004.

◆ 原 著

- 1) Sakai M., Sasaki Y., Yoneda S., Kasahara T., Arai T., Okada M., Hosokawa H., Kato K., Soeda Y., and Saito S.: Elevated interleukin-8 in cervical mucus as an indicator for treatment to prevent premature birth and preterm, prelabor rupture of membranes: A prospective study. *Am J Reprod Immunol*, 51:220-225, 2004.
- 2) Sakai M., Ogawa K., Shiozaki A., Yoneda S., Sasaki Y., Nagata K., and Saito S.: Serum granulysin is a marker for Th1 type immunity in preeclampsia. *Clin Exp Immunol*, 136:114-119, 2004.
- 3) Sakai M., Shiozaki A., Sasaki Y., Yoneda S., and Saito S.: The ratio of interleukin (IL)-18 to IL-12 secreted by peripheral blood mononuclear cells is increased in normal pregnant subjects and decreased in pre-eclamptic patients. *J Reprod Immunol*, 61:133-143, 2004.
- 4) Sakai M., Ishiyama A., Tabata M., Sasaki Y., Yoneda S., Shiozaki A., and Saito S.: Relationship between cervical mucus interleukin-8 concentrations and vaginal bacteria in pregnancy. *Am J Reprod Immunol*, 52:106-112, 2004.

- 5) Sasaki Y., Sakai M., Miyazaki S., Higuma S., and Saito S.: Decidual and peripheral blood CD4+ CD25+ regulatory T cells in early pregnancy subjects and spontaneous abortion cases. *Mol Hum Reprod* 10:347-353, 2004.
- 6) Ogawa J., Sasahara A., Yoshida T., Sira M. M., Futatani T., Kanegane H., and Miyawaki T.: Role of transforming growth factor- β in breast milk for initiation of IgA production in newborn infants. *Early Hum Dev* 77:67-75, 2004.
- 7) Ye F., Foell D., Hirono K., Vogl T., Futatani T., Rui C., Yu X., Watanabe S., Watanabe K., Uese K., Hashimoto I., Roth J., Ichida F., Miyawaki T.: Nautrophil-derived S100A12 is profoundly upregulated in the early stage of acute Kawasaki disease. *Am J Cardiol* 94:840-844, 2004.
- 8) Miyazaki S., Tsuda H., Sakai M., Hori S., Sasaki Y., Futatani T., Miyawaki T., and Saito S.: Predominance of Th2-promoting dendritic cells in early human pregnancy decidua. *J Leukocyte Biol*:514-522, 2003.
- 9) 酒井正利, 佐々木 泰, 渡邊弘道, 米田 哲, 塩崎有宏, 吉田丈俊, 二谷 武, 宮脇利男, 斎藤 滋: 新生児予後からみた妊娠32週未満のpreterm PROM症例の管理についての検討. 周産期学シンポジウム 22:11-18, 2004.
- 10) 酒井正利, 米田 哲, 渡邊弘道, 佐々木 泰, 塩崎有宏, 斎藤 滋: 超早産におけるサイトカイン. 周産期新生児誌 40:746-750, 2004.
- 11) 種市尋宙, 金兼弘和, 二谷 武, 宮脇利男: わが国におけるX連鎖無 γ グロブリン血症の臨床診断に関する検討. 日本小児科学会雑誌 108:1118-1122, 2004.

◆ 症例報告

- 1) Mikami T., Hayasaka S., Nagai Y., Yanagisawa S., Futatani T., and Takano Y.: Congenital corneal staphyloma associated with aphakia. *J. Pediat. Ophth Strab* 41:180-182, 2004.

◆ 総 説

- 1) 酒井正利: 早産の予防戦略 - 臨床的ならびに基礎的研究 -. 日産婦東北連合会誌 51:1-7, 2004.
- 2) 酒井正利, 石山昭彦, 斎藤 滋: 早産の関連からみた腔内細菌叢と膣炎・細菌性膣症の診断と対

策, 産婦人科の世界 56:69-75, 2004.

- 3) 酒井正利, 斎藤 滋: 産婦人科手術時の合併症軽減のために一全前置胎盤の帝王切開一. 産婦人科の実際 53:313-319, 2004.
 - 4) 酒井正利, 斎藤 滋: 検査値をどう読むかー頸管・腔分泌物早産マーカー一. 産科と婦人科 71:167-171, 2004.
 - 5) 酒井正利, 佐々木 泰, 塩崎 有宏, 斎藤 滋: ハイリスク症例における胎児診断と医療介入のタイミングーpreterm PROM一. 産科と婦人科 71:1859-1865, 2004.
 - 6) 二谷 武, 宮脇利男: 原発性免疫不全症. 臨床看護 30:985-988, 2004.
 - 7) 二谷 武, 種市尋宙, 宮脇利男: マクロファージの機能とBtk. 臨床免疫 41:583-586, 2004.
 - 8) 二谷 武, 金兼弘和, 宮脇利男: 免疫不全症を疑うのはどのようなときか. 小児内科 36:1702-1706, 2004.
 - 9) 塚田一博, 阿部秀樹, 横山義信, 坂東 正, 広川慎一郎, 山岸文範: 「胆嚢癌手術を見直す」胆嚢癌に対する単純胆嚢摘出術. 胆と膵 25:131-134, 2004.
- ◆ 学会報告
- 1) 酒井正利, 佐々木 泰, 渡邊 弘道, 米田 哲, 塩崎有宏, 吉田丈俊, 二谷 武, 斎藤 滋: 母児の予後からみた娩出のタイミングー新生児予後からみた妊娠32週以前のpreterm PROM症例の管理についての検討一. 第22回周産期学会シンポジウム, 2004, 1, 名古屋.
 - 2) 渡辺一洋, 渡邊綾佳, 広野恵一, 上勢敬一郎, 橋本郁夫, 市田路子, 宮脇利男, 大坪慶輔, 二谷武, 土肥善郎, 島津親志, 大嶋義博, 三崎拓郎: 術後早期に繰り返し経皮的動脈弁形成術を施行した大動脈弓離断の乳児例. 第15回日本Pediatric Interventional Cardiology研究会, 2004, 1, 東京.
 - 3) 伊吹圭二郎, 倉本 崇, 東山弘幸, 野村恵子, 金兼弘和, 宮脇利男, 廣川慎一郎, 土岐善紀, 一木克之, 石澤 伸: 最近当科にて経験した興味ある神経芽細胞腫の2例ー自然退縮した IVS の1例とHorner徴候を合併した1例一. 第20回北陸小児癌症例検討会, 2004, 2, 金沢.
 - 4) 土地園美, 山下優子, 寺越恵美子, 小川志乃, 山田多香子, 境 美代子, 二谷 武, 安岡 彰: 新生児集中治療室 (NICU) におけるMRSA感染発生とその対応. 第19回日本環境感染学会, 2004, 2, 横浜.
 - 5) 酒井正利, 佐々木 泰, 渡邊弘道, 米田 哲, 塩崎有宏, 吉田丈俊, 二谷 武, 斎藤 滋: 妊娠32週以前の前期破水の管理方針についての検討. 第4回浜名湖カンファランス, 2004, 3, 浜松.
 - 6) 榊 久乃, 倉本 崇, 吉田丈俊, 二谷 武, 内尚子, 渡辺弘道, 酒井正利, 宮脇利男: 胎盤血管腫が原因と考えられた胎児水腫の1症例. 第280回日本小児科学会北陸地方会, 2004, 3, 金沢.
 - 7) 酒井正利, 佐々木 泰, 米田 哲, 塩崎有宏, 斎藤 滋: 妊娠中毒症および正常妊婦末梢血単核球におけるIL-12, IL-18産生能についての検討. 第56回日本産婦人科学会総会, 2004, 4, 東京.
 - 8) 佐々木 泰, 宮崎聡美, 樋熊須晴, 堀 慎一, 酒井正利, 斎藤 滋: 妊娠初期脱落膜局所におけるCD4+CD25 bright制御性T細胞に関する研究. 第56回日本産科婦人科学会総会, 2004, 4, 東京.
 - 9) 金兼弘和, 二谷 武, 宮脇利男: IgGサブクラス測定のための臨床的ニード: アンケート調査による検討. 第107回日本小児科学会, 2004, 4, 岡山.
 - 10) 二谷 武, 市田路子, 宮脇利男: VEGFR3キナーゼドメイン内のミスセンス変異による遺伝性リンパ浮腫(Milroy病)の一家系. 第28回日本リンパ学会総会, 2004, 6, 富山.
 - 11) 種市尋宙, 宮脇利男, 吉田丈俊, 二谷 武, 浅井 正嗣, 八木信一: 出生時呼吸困難をきたした口腔内腫瘍の1例. 第19回日本小児救急医学会, 2004, 6, 金沢.
 - 12) Sasaki Y.: Th1/Th2/Th3 regulatory T cell paradigm in human pregnancy. The 14th lake shirakaba conference, 2004, 6, Denmark.
 - 13) Sakai M., Shiozaki A., Yoneda S., Sasaki Y., and Saito S.: The ratio of IL-18 to IL-12 by PBMC is increased in normal pregnancy and decreased in pre-eclampsia. The 24th Annual meeting American society for reproductive immunology, 2004, 6, St Louis, U.S.A.
 - 14) Sasaki Y., Miyazaki S., Higuma S., Hori S., Sakai M., and Saito S.: Decidual and peripheral blood CD4+CD25bright regulatory T-cells in early pregnancy subjects and spontaneous abortion cases. The 24th Annual meeting of American society for reproductive immunology, 2004, 6, St Louis, U.S.A.
 - 15) 酒井正利, 米田 哲, 渡邊 弘道, 佐々木 泰, 塩崎有宏, 斎藤 滋: 超早産の病態, 予後および予防への展望ー超早産におけるサイトカイン一. 第40回日本周産期・新生児医学会シンポジウム,

- 2004, 7, 東京.
- 16) 二谷 武, 吉田丈俊, 小川次郎, 内 尚子, 酒井正利, 齋藤 滋, 宮脇利男: 胎盤血管腫に合併した胎児水腫の1例. 第40回日本周産期・新生児医学会, 2004, 7, 東京.
 - 17) 横山義信, 長田拓哉, 野澤聡志, 笹原孝太郎, 阿部秀樹, 坂東 正, 廣川慎一郎, 塚田一博: 消化器外科領域における全身性炎症反応症候群に伴う急性肺障害の検討. 第59回日本消化器外科学会定期学術総会, 2004, 7, 鹿児島.
 - 18) 南村哲司, 笹原孝太郎, 野澤聡志, 長田拓哉, 吉野友康, 横山義信, 坂東 正, 阿部秀樹, 廣川慎一郎, 塚田一博: 直腸癌に対する新たな治療戦略—下部直腸癌症例における括約筋合併切除平滑筋付加肛門管形成術による肛門温存の適応拡大: 第59回日本消化器外科学会定期学術総会, 2004, 7, 鹿児島.
 - 19) 齊藤和由, 大嶋義博, 土肥善郎, 名倉里織, 三崎拓郎, 橋本郁夫, 市田露子, 吉田丈俊, 二谷武, 宮脇利男: 左心低形成症候群に対し, 二心室修復を試みた1例. 第40回日本小児循環器学会総会学術集会, 2004, 7, 東京.
 - 20) 渡邊弘道, 酒井正利, 塩崎有宏, 佐々木 泰, 米田 哲, 齋藤 滋: 絨毛膜羊膜炎の胎盤におけるToll-like receptor-4とNF- κ B (active form)の発現についての検討. 第12回北日本連合地方部会総会, 2004, 9, 北海道.
 - 21) 渡邊弘道, 酒井正利, 塩崎有宏, 佐々木 泰, 米田 哲, 齋藤 滋: 妊娠中毒症の胎盤におけるToll-like receptor-4とNF- κ B (active form)の発現に関する検討. 第25回日本妊娠中毒症学会, 2004, 9, 東京.
 - 22) 金兼弘和, 野村恵子, 二谷 武, 宮脇利男: 成人期に診断されたX連鎖無ガンマグロブリン血症. 第66回日本血液学会総会・第46回臨床血液学会総会, 2004, 9, 京都.
 - 23) 野沢聡志, 長田拓哉, 阿部秀樹, 坂東 正, 山岸文範, 笹原孝太郎, 横山義信, 大西康晴, 田澤賢一, 廣川慎一郎, 塚田一博: 総胆管結石治療の標準化に向けて. 総胆管結石症に対する治療法の検討: 第40回日本胆道学会集会, 2004, 9, つくば.
 - 24) 大西康晴, 廣川慎一郎, 神山公希, 本間崇浩, 渡邊智子, 田澤賢一, 長田拓哉, 笹原孝太郎, 野澤聡志, 坂東 正, 山岸文範, 塚田一博: 胃破裂をきたした先天性食道閉鎖症の1例. 第34回日本小児外科学会北陸地方会, 2004, 9, 金沢.
 - 25) 渡邊智子, 廣川慎一郎, 本間崇浩, 神山公希, 大西康晴, 坂東 正, 山岸文範, 塚田一博: 右Bochdalekヘルニア術後の患児に発症したイレウスの1例. 第34回日本小児外科学会北陸地方会, 2004, 9, 金沢.
 - 26) 本間崇浩, 廣川慎一郎, 大西康晴, 神山公希, 塚田一博: 十二指腸膜様狭窄の1例. 第34回日本小児外科学会北陸地方会, 2004, 9, 金沢.
 - 27) Sasaki Y., Nakashima A., Miyazaki S., Myojo-Higuma S., Sakai M., Ishii N., Sugamura K., and Saito S.: Regulatory T cells play very important role for maintenance of allogenic pregnancy. IX th international congress of reproductive immunology, 2004, 10, Hakone.
 - 28) Kanegane H., Futatani T., Wang Y., and Miyawaki T.: Nation-wide survey of X-linked agammaglobulinemia by flow cytometric and genetic analyses in Japan. 11th meeting for the European society for immunodeficiencies, 2004, 10, Paris.
 - 29) Asghar A., Kanegane H., Mostafa M., Lida A., Ali-Akbar A., Kiara R-K., Futatani T., Nima R., and Miyawaki T.: Recurrent and persistent neutropenia in patient with X-linked hyper IgM syndrome. 11th meeting for the European society for immunodeficiencies, 2004, 10, Paris.
 - 30) 佐々木 泰, 宮崎聡美, 樋熊須晴, 酒井正利, 齋藤 滋: アロ妊娠における制御性T細胞の役割に関する研究. 第19回日本生殖免疫学会総会, 2004, 10, 箱根.
 - 31) 野沢聡志, 長田拓哉, 阿部秀樹, 坂東 正, 山岸文範, 笹原孝太郎, 横山義信, 大西康晴, 田澤賢一, 廣川慎一郎, 塚田一博: 総胆管結石症に対する治療法の違いによる術後経過の検討. 第66回日本臨床外科学会総会, 2004, 10, 盛岡.
 - 32) 笹原孝太郎, 神山公希, 北條莊三, 田澤賢一, 大西康晴, 長田拓哉, 横山義信, 野沢聡志, 坂東 正, 山岸文範, 廣川慎一郎, 塚田一博: 早期胃癌に内視鏡的治療を繰り返し進行胃癌で遺残再発した1例: 第66回日本臨床外科学会総会, 2004, 10, 盛岡.
 - 33) 酒井正利, 渡邊弘道, 塩崎有宏, 佐々木 泰, 米田 哲, 齋藤 滋: 絨毛膜羊膜炎の胎盤におけるToll-like receptor-4と活性型NF- κ Bの発現と新生児炎症所見についての検討. 第12回日本胎盤学会, 2004, 11, 大分.

病 理 部

Surgical Pathology

部 長 高野 康雄 Yasuo Takano

- 34) 渡辺智子, 塚田一博, 笹原孝太郎, 神山公希, 田澤賢一, 大西康晴, 長田拓哉, 野澤聡志, 坂東正, 山岸文範, 廣川慎一郎: 当科におけるSurgical Site Infection症例の検討—術後感染予防薬と耐性菌との関係. 第17回日本外科感染症学会総会, 2004, 11, 長岡.
- 35) 野沢聡志, 廣川慎一郎, 坂東 正, 大澤宗士, 井口治男, 塚田一博: 大腿ヘルニア嵌頓を疑わせた特発性腹膜前膿瘍の一例. 第17回日本外科感染症学会総会, 2004, 11, 長岡.
- 36) 金兼弘和, 二谷 武, 野村恵子, 久間木悟, 土屋 滋, 野々山恵章, 宮脇利男: 原発性免疫不全症候群の遺伝子診断における国際協力. 第36回日本小児感染症学会, 2004, 11, 東京.
- 37) 野村恵子, 金兼弘和, 二谷 武, 金子英雄, 近藤直実, 宮脇利男: IgGサブクラス測定 of 臨床的ニードとIgGサブクラス欠損症の実態. 第36回日本小児感染症学会, 2004, 11, 東京.
- 38) 伊吹圭二郎, 石山昭彦, 伊奈志帆美, 吉田丈俊, 二谷 武, 廣川慎一郎, 宮脇利男: 食堂閉鎖症に胃穿孔を合併した超低出生体重児の1例. 第49回日本未熟児新生児学会, 2004, 12, 横浜.
- 39) 橋本佳子, 伊奈志帆美, 石山昭彦, 齋藤 滋, 吉田丈俊, 二谷 武, 酒井正利, 伊吹圭二郎, 宮脇利男: 両児に新生児妊娠性疱疹症を発症した双胎例. 第49回日本未熟児新生児学会, 2004, 12, 横浜.
- 40) 種市尋宙, 金兼弘和, 二谷 武, 宮脇利男: X連鎖無ガンマグロブリン血症由来樹状細胞におけるToll-like receptor ligandsに対する応答性. 第34回日本免疫学会総会, 2004, 12, 札幌.
- 41) Mostafa S., Yoshida T., Futatani T., Kanegane H., and Miyawaki T.: Human breast milk can promote class switching of neonatal naive B-cells into IgA-secreting cells. 第34回日本免疫学会総会, 2004, 12, 札幌.

◆ その他

- 1) 酒井正利: 免疫: からだを守る—病気を起こす—平成16年度富山医科薬科大学公開講座, 2004, 9, 富山.
- 2) 二谷 武, 金兼弘和, 種市尋宙, 吉田丈俊, 宮脇利男, 金子英雄, 近藤直実: 成人の低 γ グロブリン血症における遺伝子解析. 厚生労働省科学研究費補助金特定疾患対策研究事業原発性免疫不全症候群調査研究班平成15年度研究業績報告書, 91-94, 2004.

◆ 原 著

- 1) Kumada T., Tsuneyama K., Hatta H., Ishizawa S. and Takano Y.: Improved 1-h rapid immunostaining method using intermittent microwave irradiation. *Mod. Pathol.*, 17(9): 1141-9, 2004.
- 2) Hemat O.A.A., Ryota H., Shinnichi H., Cheng C., Shin I., Yoshihiro M., Koichi T., Kazuhiro M. and Yasuo T.: Nuclear Galectin-3 Overexpression Inversely Correlates with Lymph Node Metastasis in Lung Adenocarcinomas. *Kitasato Med*, 33:299-309, 2004.

◆ 症例報告

- 1) 野本一博, 常山幸一, 石澤 伸, 高野康雄: 甲状腺癌脳転移の1例. 第53回日本病理学会中部支部交見会, 2004, 7, 長野.

◆ 学会報告

- 1) 村井嘉寛, 高橋博之, 常山幸一, 岡田英吉, 高野康雄: 胃癌におけるheat shock proteinの発現. 日本病理学会, 2004, 6, 札幌.
- 2) 高橋博之, 村井嘉寛, 常山幸一, 岡田英吉, 高野康雄: 胃癌におけるリン酸化HistoneH3とAurora-Bの発現. 日本病理学会, 2004, 6, 札幌.
- 3) 熊田時正, 八田秀樹, 常山幸一, 石澤 伸, 村井嘉寛, 林 伸一, 高橋博之, 堀 亮太, 野本一博, 高野康雄: 新しい技術—マイクロウェーブを用いた迅速免疫染色法. 第93回日本病理学会, 2004, 6, 札幌.
- 4) 堀 亮太, 野本一博, 常山幸一, 石澤 伸, 高野康雄: 同時性多発大腸癌症例の臨床病理学的・免疫組織化学的検討. 第93回日本病理学会, 2004, 6, 札幌.
- 5) Sistayanarain A., 常山幸一, 石澤 伸, 高野康雄: Characterization of novel splice variants of aurora B kinase from the hepatoblastoma cell line. 第93回日本病理学会, 2004, 6, 札幌.
- 6) 程 春美, 常山幸一, 松井一裕, 石澤 伸, 高野康雄: 非小細胞肺癌におけるc-erbB2の発現パターンとその機能的意義の解析. 第93回日本病理学会, 2004, 6, 札幌.